

歴史散歩

No.31

四海太平記と朽木種綱

日本文学のジャンルに軍記物といわれるものがあります。よく知られるものとして『保元物語』



▲朽木（針畑）で発見された四海太平記

貴義範という人物で、全15巻に目録1巻がついて18冊で構成されています。この本は、現在のところ国立国会図書館の他全国7か所に所在が確認されているだけで、その存在を知る人は学者間でも数少ないようです。したがって針畑での発見は特筆する価値があるといえるでしょう。

次にこの本の内容ですが、時代は室町中後期、つまり戦国時代（1467～1568年）と呼ばれた100年間を舞台に、室町將軍職の相續争いとそれに関わった大名たちの権力闘争を、史実と創作をとり混ぜて生々しく描写しています。

物語は、近江守護家の佐々木六角高頼・氏綱・定綱・義実（義久）を主役として、仇役には細川政元・大内義興・細川高国・細川晴元・三好長慶を、脇役には畠山・一色・赤松・山名・毛利・朝倉・島津らの大名や京極・大原・高嶋・浅井らの近江源氏に連なる武将を配することで、臨



▲目録

場感を増幅させ、記録性を高めています。

とりわけ、脇役たちの中で最も多く登場し、場面展開のキー・パーソンとして活躍するのが朽木家第14代目当主の朽木種綱です。また、12代將軍足利義晴が享禄元年（1528年）から3年間、京都での戦乱を避けて朽木谷に滞在したという史実を下敷きとして語られる、朽木城攻防戦の場面は圧巻といえます。

次号から2回の予定で、口語訳による概要を掲載いたします。どうぞ、お楽しみに。

（朽木村史編さん室）

編集後記



ほ、ほ、ほたる来い。高島の水は甘いかな？
（マキノ町で）

▼飛び交うホタルと川面を渡る風が、梅雨はじめじめとうとうしい気分を晴れさせてくれます。身近に、こんな環境があることは本当に幸せです。▼今月の表紙は、県内の小学校で唯一、授業に力を入れているマキノ東小学校の自然教室の様子をご紹介します。6月5日から7日までの3日間で琵琶湖西岸70kmを力アードで縦断。2チームが、2、3kmごとに交替しながら大津の柳が崎を目指します。5日朝6時、たくさんの方々に見送られ海津を出発。浜辺からはチャレンジする子どもたちに声援が、また、中継点では地域の方もサポートに加わります。地域の方もサポートに加わります。地域の懐に抱かれ育つ子どもたちの姿を目の当たりにし、仕合せを感じました。

（広報担当O）

広報たかしま

第46号

発行／高島市 編集／企画部秘書広報課
〒500-1-0001 滋賀県高島市新旭町北畑500番地 ☎0770(24)81-30

http://www.city.takahima.shiga.jp
t-info@city.takahima.shiga.jp

広報たかしま Takashima

2007 7.1
平成19年 No.46

●特集 ②-⑤ 守れなかった命を見つめて

- 6-8 タウントピックス
- 9 みんなで5・7・5
- 10 市長日記・省エネ長者作戦
- 11 健康生活していますか？
- 12・13 まちなタ写真館
- 14 びょういんだより
- 15 教育委員会 information
- 16・17 国保年金あらかると
- 18-21 情報おしらせ版
- 22 そうだ図書館に行こう♪
- 23 窓口・納税
- 24 歴史散歩

漕ぐ手に感じる でっかい琵琶湖



【6月5日 マキノ東小学校自然教室2007で】